バス業界就職支援パンフレット

“次は「夢のあるバス業界」”

公益社団法人 日本バス協会

バスは人々の生活や地域に無くてはならないサービスであり産業です。
これまで人々の移動と地域の基盤づくりを支える努力を続けていることを誇りに
使命を果たしてきました。

バスが走って、人々の生活を支え、そして、地域が豊かになることで、
また新たなバスが走ります。
夢のある産業として、バスがさらに輝く時代を一緒に創りましょう。

No.01

バス運転士 (P5)

制服や制帽を身に付けて大きなバスを操る運転士は、子どもたちの憧れの存在です。
運転士の最大の責任は、お客様を安全に確実に目的地まで運ぶことです。運転中は車内外の安全やお客様の様子、トラブルにも注意を払います。
運転士の仕事は重要性や必要性が広く認められています。そのため、頼もしい姿が誰にとっても格好よく見え、やりがいのある魅力的な仕事と言えるでしょう。

No.02

バスガイド (P6)

バスガイドは、観光バス旅行に欠かせない存在です。
制服姿で親しみやすい観光ガイドを行い、歌やクイズで旅行を盛り上げます。また、運転士のパートナーとして安全確認や誘導なども担当します。
観光地の歴史や名物を紹介し、お客様に楽しい思い出を提供するための勉強も欠かしません。
バスガイドの仕事は体力を要しますが、旅行先での楽しみや特別な出会いがあり、非常にやりがいのある職業です。

バスの運行に関わる人々

バスに関わる多彩なプロフェッショナルにインタビュー。

No.03

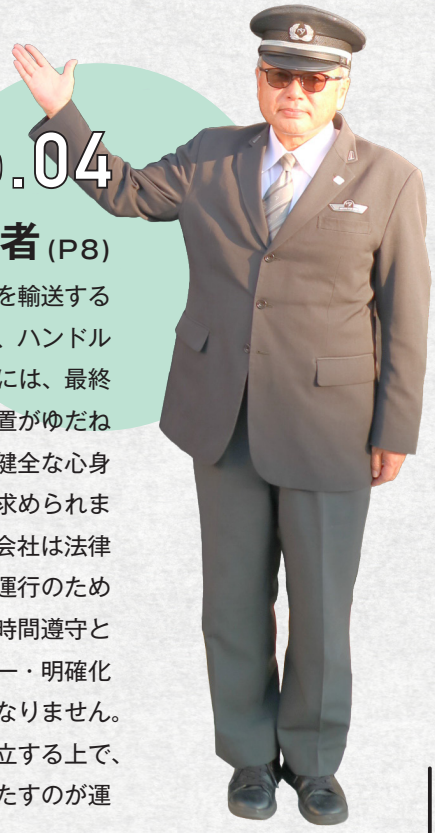
整備士 (P7)

バス整備士（バス会社における非乗務職）は、バスの安全を守る重要な仕事を担っています。
運転士が毎日行う点検に加え、バス整備士は自家用車よりも厳しい安全基準に基づき、3ヶ月点検や12ヶ月点検（車検）を実施します。多くのバス会社は法定以上の頻度で自主的な定期点検を行っています。
整備士は異常を発見した際の判断や臨時対応、運行時のトラブルに対処するためのスキルと経験が必要です。

No.04

運行管理者 (P8)

安全で安心に乗客を輸送するバス会社において、ハンドルを握るバス運転士には、最終的な安全確保の措置がゆだねられることから、健全な心身と高い安全意識が求められます。その為、バス会社は法律に基づき、安全な運行のために、運転士の勤務時間遵守と指揮命令系統の統一・明確化を徹底しなければなりません。
この安全体制を確立する上で、中心的な役割を果たすのが運行管理者です。



バスの運行に
関わる人々

No.01

バス運転士

やりがいを感じる点はなんですか？

公共交通機関として、お客様の足となる重要な役割を持つバス。その運転士として、多くのお客様のお役に立てているこの仕事に誇りを感じています。また私の所属する営業所では、2両編成の連節バスが導入されており、そのバスの運転士に任命された事に大変やりがいを感じました。

INTERVIEW

京成バス株式会社
新都心営業所
勤続年数：9年

難しいと感じる点はなんですか？

毎日、担当する路線や系統が違う中で、各路線の特徴や注意箇所を更新していき、絶対に事故や違反が無いよう細心の注意を払い運行にあたっています。また、早朝からの勤務や深夜までの勤務など、時間も不規則な為、翌日の勤務までの休息時間はできる限り身体を休ませることを意識しています。

これからバス運転士を目指す人へのメッセージをお願いします！

バスには路線バス・高速バス・貸切バスなど様々な輸送形態があり、それぞれに異なる楽しさと難しさがあります。どれも簡単ではないですが、大きな車両を動かす感動は他に例えようが無いほどです。皆様と一緒に働ける事を心待ちにしています。

バス運転士の1日

5:30	出社・タイムカード記録・アルコール検査、点検、始業点呼
5:55	出庫・運転業務
9:00	入庫・車内点検・休憩（食事）
10:15	出庫・運転業務
13:30	入庫・点検、給油、清掃
13:40	アルコール検査、終業点呼

バスの運行に
関わる人々

No.02

バスガイド

INTERVIEW

東都観光バス株式会社
千葉営業所
勤続年数：15年6か月

難しいと感じる点はなんですか？

最初に感じたのは何を話そう…私の案内は伝わっているのかなと思いました。友達と話すのとは違い、人前で、しかも大勢の方にわかりやすく伝えるのはとっても難しいと感じました。

やりがいを感じる点はなんですか？

お客様が知らなかったことを伝えられたとき、私の案内を熱心に聞いてお客様が「そうなんだ！」と反応してくださった時にやりがいを感じます。また、お帰りの際に「楽しかった」とおっしゃって笑顔が見られた時に1日頑張ってよかったと思います。

これからバスガイドを目指す人へのメッセージをお願いします！

バスガイドにならなかったら体験できなかったことがたくさんあります。各地の絶景が見られて、ご当地の美味しいものが食べられ、仕事とはいえども充実した毎日が過ごせますよ！また、毎日違うお客様の為、大変な部分はありますが、視野を広げ色々なことに興味を持ち、さまざまなことを知るということが大事だと思います。

バスガイドの1日

6:50　出社して、1日の流れを最終チェック
マイクやオーディオなど点検、
車両の準備

7:40　点呼を受け、営業所を出発

9:20　配車場所に到着
添乗員さんや幹事さんと打ち合わせ

9:30　東京スカイツリーへ向けて出発！

車内にて自己紹介と
当日のスケジュールのご案内、
観光案内もしていきます！

9:50　スカイツリー到着
チケットを配布、バスを降りてお客様を
入場口まで誘導

11:30　スカイツリー出発
首都高で横浜へ！

12:30　横浜中華街到着

15:00　横浜中華街出発
お別れのご挨拶

15:40　羽田空港到着

17:00　帰庫
事務所に報告をして、1日の業務が終了

バスの運行に
関わる人々

No.03

整備士

やりがいを感じる点はなんですか？

自分たちの整備したバス車両がお客様を乗せ安全に街中を運行しているのを見ると地域に貢献していることを実感しやりがいを感じます。

INTERVIEW

三重交通株式会社
生桑整備工場
勤続年数：6年

難しいと感じる点はなんですか？

私の勤務する整備工場で整備する車両はトラックも含め車種、メーカーとも様々な車両が入庫します。ですので例えば同じ名称の部品でも設置されてる箇所や作業順序もそれぞれ違うことも多いので各車両に応じた作業手順を取らないといけない為、難しさを感じるときはあります。

これから整備士(バス会社における非乗務職)を目指す人へのメッセージをお願いします！

大型車の整備は乗用車と違いどの部品も大きく、作業には体力を必要とします（特に慣れるまでは）。ですので、普段から健康管理をしっかり行っておくことが大事です。当然ですが自動車には詳しくなるため自分の車のある程度の整備は出来るようになるので楽しいですよ。

整備士の1日

9:00	出社・朝礼
9:05	整備作業開始（車検）
12:10	昼食休憩
13:00	昼礼後整備作業再開
16:00	整備作業完了、車両検査作業補助
17:00	完成車両清掃、 工場内・工具の整理整頓、 翌日の作業準備
18:00	退社

バスの運行に
関わる人々

No.04

運行管理者

INTERVIEW

名鉄バス株式会社
名古屋中央営業所
勤続年数：20年2か月

やりがいを感じる点はなんですか？

運行管理者は運行している全車両の管理責任者となり、当営業所では高速路線を主体としているため、24時間、日本全国を股にかけて全車両が自分の指示系統により動いている（動かしている）という点にやりがいと責任の重大性を感じます。また、その結果として事故や運行ミスがなく帰営した運転士を「お疲れ様でした」と迎え入れて1日が終了した日には大きな充実感もあります。

難しいと感じる点はなんですか？

点呼では、運転士に路線情報や会社の伝達事項を正確かつ漏れなく伝える必要があり、大きな責任を感じます。特に迂回運行が生じる時は限られた時間内で安全運行のための適切な指示が求められ、情報漏れは運行ミスに直結します。自分の指示に誤りがなかったか常に自問しながら仕事に取り組んでいます。

これから運行管理者（バス会社における非乗務職）を目指す人へのメッセージをお願いします！

運行管理者は責任の重い仕事であり、一人で全てをこなすのは難しいものです。私も最初は不安でしたが、運転士や同僚、上司と信頼関係を築きながら助け合い、成長してきました。誰もが初めから完璧ではありません。失敗を恐れず、新しい挑戦に踏み出してください。

運行管理者の1日

9:00　前日の管理者からの引継ぎ
翌日の運用車両の決定　車両管理表や各種帳票類、出先点呼簿の作成　自社運転士および共同運行会社運転士への点呼送り出し　お客様からの電話対応や遺失物の保管処理　業務無線報告への対応　両替用公金やETCカード、乗車券類の管理確認　運転日報のチェック　乗降調査票の取りまとめ　車両故障時の修理伝票作成と車両整備担当との打合せ

14:00　点呼システムへ翌日の運行車両情報の入力

21:00　自社および共同運行会社の夜行便の送り出し終了
モバイルチェッカー、座席表端末、電子決済端末の台数確認と充電作業

24:30　最終運行便の終了点呼　当日の点呼システムにおけるアルコール検査結果のチェック

24:45　営業所の施錠

翌　日

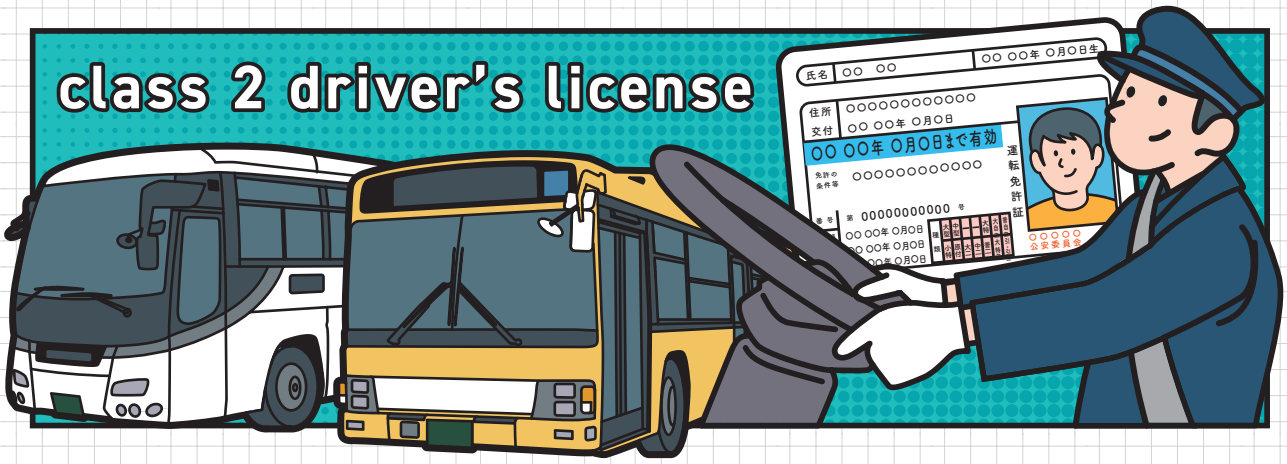
4:30　営業所の解錠　点呼システム、乗務携行品の準備

5:19　始発便の点呼開始

9:00　朝礼後、翌日の管理者への引き継ぎを行い、業務終了

運転免許の最高峰

大型二種免許の取得について



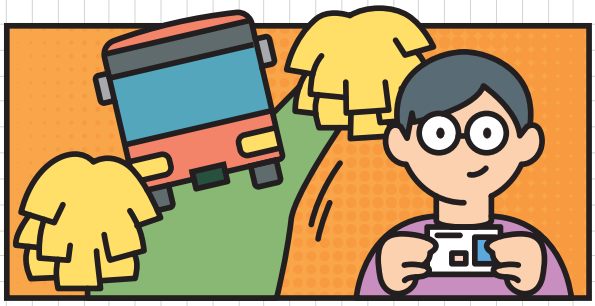
大型二種免許とは

バスを運転するには「大型二種免許」が必要です。この免許は、大型車両を運転できる「大型免許」と、旅客自動車の営業運転を可能にする「第二種免許」を組み合わせたもので、運転免許の中でも最高峰とされています。大型二種免許を取得すると、大型・中型・準中型・普通自動車を用いた旅客営業運転が可能になります。また、令和4年5月13日から受験資格が緩和され、年齢が19歳以上で、普通免許などを取得後1年以上経過していれば受験が可能になりました。この改正により、以前よりも若い世代が免許取得に挑戦できるようになり、バス業界への新たな人材参入が期待されています。

取得方法について

大型二種免許を取得するには、まず大型一種免許（または中型・普通二種）を取得し、21歳以上かつ運転経験3年以上であることが必要ですが、2022年5月13日から一定の教習を終了した19歳以上の若者でも取得可能になりました。免許を取得するには指定自動車教習所に通うか、一発試験を受けます。

バス会社による取得支援制度も！



バス運転士の求人では、大型二種免許をバス会社の費用で取得できる制度が多くあります。多くの場合、費用は貸し付けられ、3～5年の継続勤務で返済が免除されます。支援内容は会社ごとに異なり、一部補助から全額補助までさまざまです。利用の際は、条件や仕組みをしっかり確認することが大切です。

初心者でも安心！

研修制度について

バス会社の安心・充実の研修制度を紹介！

バス運転士は、入社後にすぐに乗務するわけではなく、まず座学と実技の研修を受け、卒業試験を通じて適性を確認します。その後、見習い期間を経て、一人での運行が許可されます。
研修では運転スキルだけでなく、お客様との接客やバスの知識も学び、あらゆる場面に対応できる力を養います。各バス会社は充実した研修プログラムを用意しており、初めての人でも安心して始められます。

バス運転士・研修事例

入　社

研修所での研修

- 導入研修（1~2日間）
  - バス運転士としての心構えや会社の規則を学びます。
- 実車研修（4~5日間）
  - 様々な装備がついた研修車や実際のバスを使って運転を学びます。
- 座学研修（約1週間）
  - 接客・接遇や車両について、安全運転に対する知識や金銭の取扱いなどを座学で学びます。
- 実車研修（約3週間）
  - 再びバスを運転し、運転スキルや接客スキルの向上を目指します。

営業所での研修

- 指導運転士と実車研修（期間は本人の習得レベルによる）
  - 営業所に配属されたあと、指導運転士が同乗し、運転スキルの向上や運転ルート、バス停の位置の把握などを目指します。
- 指導運転士が同乗しての営業運転研修（期間は本人の習得レベルによる）
  - 実際に営業するバスを運転します。指導運転士が同乗し、ひとりで乗務できるようになるまで研修がおこなわれます。

ひとり乗務デビュー！

※バス会社によって研修内容は異なります。上記はモデルケースです。

ご存じですか？

貸切バス事業者安全性評価認定制度

制度の目的

貸切バスは、観光バスとしてのサービスのほか、イベント輸送、災害時緊急輸送など様々なニーズに対応する輸送手段として広く利用されています。日本バス協会では、2011年度から貸切バス事業者の安全に対する取組状況について評価・認定する「貸切バス事業者安全性評価認定制度」を実施しています。

この制度は貸切バス事業者の安全対策や取組状況を評価・認定し、公表することで、利用者や旅行会社が安全性の高い事業者を選びやすくすることを目的にしています。

詳しい制度内容はこちらから▶
https://www.bus.or.jp/safety/

「SAFETY BUS（セーフティバス）」マーク

「SAFETY BUS（セーフティバス）」マークは、本制度で評価・認定され、安全に対する取組状況が優良である事業者を示すものです。2025年度以降、健康管理や先進安全自動車など安全に対する高度な取組への評価等、審査内容を抜本的に見直し、新基準により評価します。新基準では一ツ星～五ツ星の５段階の評価※とし、認定されると新マークが交付されます。

※新規は一ツ星からスタートし、更新毎に1ランクアップします。

2024年度までに認定された事業者のマーク

2025年度以降に認定された事業者の新マーク

審査内容

法令遵守事項と安全確保への取組状況を書類審査と訪問審査で確認し、評価・認定しています

評価項目	内　容
安全性に対する取組状況	▶ アルコールチェッカーを使用して厳正な点呼を行っているか ▶ デジタル式運行記録計を活用しているか ▶ ドライブレコーダーを導入して教育・指導を行っているか ▶ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）や脳検診等を実施しているか 等
事故及び行政処分の状況	▶ 過去2年間に有責の死亡事故が発生していないか ▶ 過去1年間に有責の重傷事故が発生していないか ▶ 過去2年間行政処分による累積点数を減点 等
運輸安全マネジメント取組状況	▶ 輸送の安全確保の責任体制を構築しているか ▶ 安全方針の策定と全従業員への周知徹底をしているか ▶ 安全に対する会社を挙げての取組をしているか ▶ 自動車事故対策機構等の運輸安全マネジメント認定セミナーを活用しているか 等

公益社団法人 日本バス協会

2025年3月発行
本パンフレットについて、無断で転載・複製及び転用することを禁じます